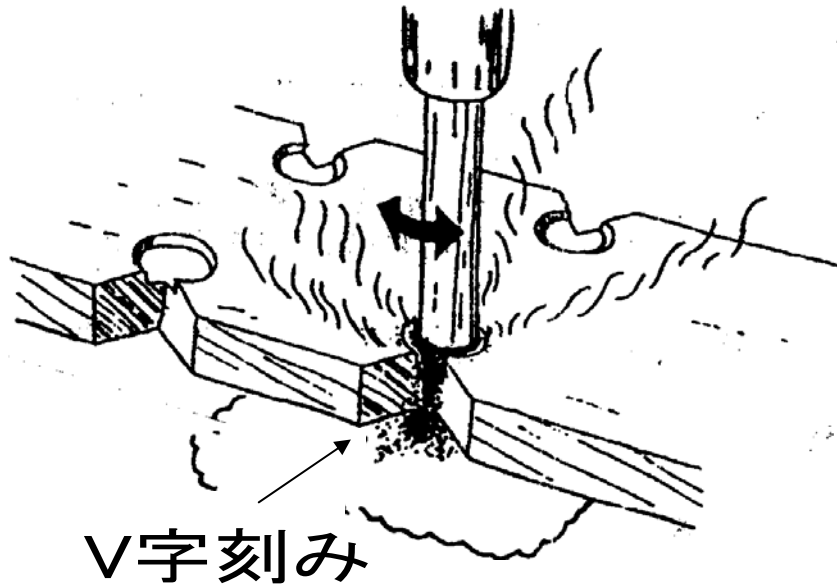
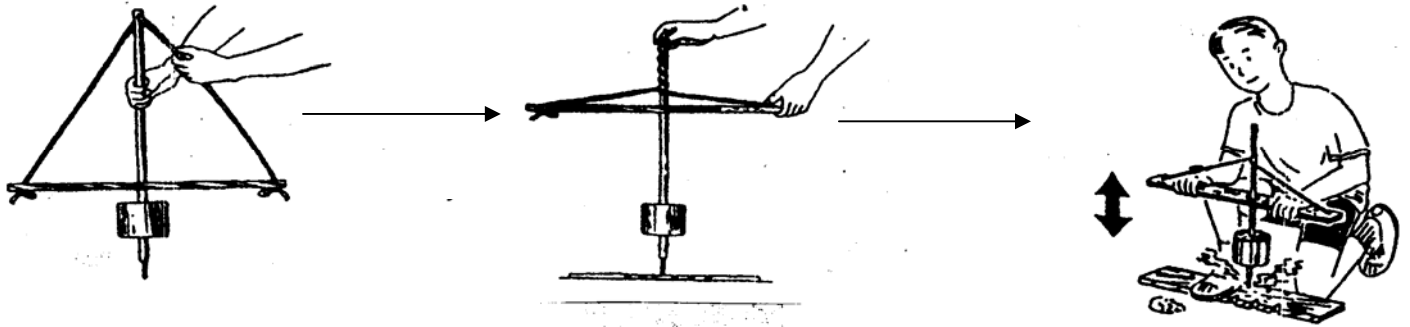


火おこし

岩手県立県北青少年の家



V字刻み

概要	現代の世の中ではボタンひとつで火がつくようになり、火の大切さ、ありがたさをいつの日か忘れてかけてきているように思う。そこで、自分たちの力で木と木の摩擦によって火をおこし、人間の文明の原点に立ち返り、自然の偉大さを実感できる。
場所	キャンプ場、野外炊事場等
所要時間	1時間
準備	火おこし器本体、火きり板、カンナ屑、ちり取り、鉄板
活動内容	<p>火きり板をセットし、火きり板の穴に火おこし器を垂直にたてる。穴の脇に鉄板を置く。</p> <p>芯棒からひもを左右等間隔にし、横木を火きり板に平行にする。</p> <p>火おこし器の芯棒を回転させ、ロープを巻きつける。</p> <p>両手で横木を持って、ゆっくり下げて芯棒を回転させる。</p> <p>ロープが伸びる少し手前で力を抜くと、反動で自然にロープが芯棒に巻きつき、横木があがってくる。</p> <p>この上下運動をゆっくりと繰り返し、少しずつ力を入れていく。</p> <p>煙が出てきたら、さらに力を加えて回転し続ける。</p> <p>黒い粉の上に火種ができたなら回転を止め、息を吹きかけながら、火種を大きくしていく。</p> <p>鉄板にのった火種をちりとりのおがくずに移動し、さらに息を吹きかけていき、火をつける。</p>

用具と火の取り扱いには十分注意すること。